



お元気ですか!

志村 たかよし です

区は「地域防災計画」を修正中

中央区総合防災訓練を実施

9月2日(日)、中央区総合防災訓練が日本橋地域を中心に実施されました。

当初の計画では、各防災拠点において避難所を開設し様々な訓練を行っ



参加者が見守る中で行われた防災ボランティアによる救助訓練＝堀留児童公園

た後、堀留児童公園に参集することになっていました。

しかし、当日は、時折激しい雨が降る天候だったため、防災拠点での訓練に参加した方の多くは帰宅してしまい、堀留児童公園で実施された「防災関係機関の連携訓練」を見学する方たちが少なかったのは残念でした。

また、各地域での住民による訓練についても代表参加や型どおりの訓練に対する疑問も出されています。

日本共産党は、防災訓練について、より実践的な訓練に改善するよう求めています。

内閣府が被害想定を見直し

内閣府は、静岡県の駿河湾から九州の太平洋沖の深海にのびる海溝「南海トラフ」を震源とするマグニチュード(M)9.1の巨大地震が起きた場合、最悪で32万3千人が犠牲になる。との新たな地震の被害想定を発表しました。

従来の犠牲者数を13倍も上回る想定をしたのは、M9級の巨大地震を「想定外」として備えを欠き甚大な被害を生んだ東日本大震災の反省を踏まえたためです。

一方、注目すべきは、被害想定の大ささではなく、手だてを尽くせば被害を少なくできることを明確にしていることです。

つねに「最悪」を想定し、「命を守ることを最優先」にすることを防災の鉄則にすることが重要です。

都の被害想定も見直し

東京都の新たな被害想定は、フィリピン海プレート上面が従来の想定より浅かったことから、首都直下地震の被害想定が大きくなっています。

しかし、この被害想定は一定の条件の元で計算されたもので、堤防の損壊も想定せず、強風下での火災延焼を除外するなど、被害を著しく低く抑えているとの指摘もあります。

(裏面につづく)

被害想定は、最新の知見を反映したものに練り上げ、すべての情報を公開することが大切です。

地域防災計画の修正は

予防の原則に立って

中央区は、4月に公表された東京都の新たな被害想定や、東日本大震災の中央区における教訓をふまえ、地域防災計画の修正をすすめています。



2階から出火した家屋を想定した消火と救助の訓練 = 9/2

地域防災計画は、住民・地域の組織と自治体が協力して地域の総点検運動をおこない、地域の特性に合わせた被害想定や防災計画づくりに取り組み、「予防の

ます。



警視庁による、倒壊家屋からの救助訓練

東京都の新たな被害想定による 中央区内の被害想定状況

建物被害 1942棟 (4%増)
出火による被害 101棟 (5.3倍)
死者数 162人 (2.5倍)
() 内は前回 (2006年想定) との比較

原則」に立って対策を進めていくことが不可欠です。
また、「緊急告知ラジオ」をさらに普及させ、「告知ラジオ」を活用した訓練も研究する必要があります。

修正に向けたスケジュール

11月上旬 修正素案の確定
11月中～下旬 パブリックコメント
2013年2月上旬 第2回防災会議
2月 地域防災計画修正の公表



乗用車の屋根を切断し、閉じ込められた人を救助する訓練

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03)5561-9909

(掲載写真は志村撮影)

ブログもごらんください

志村たかよしワールド

検索